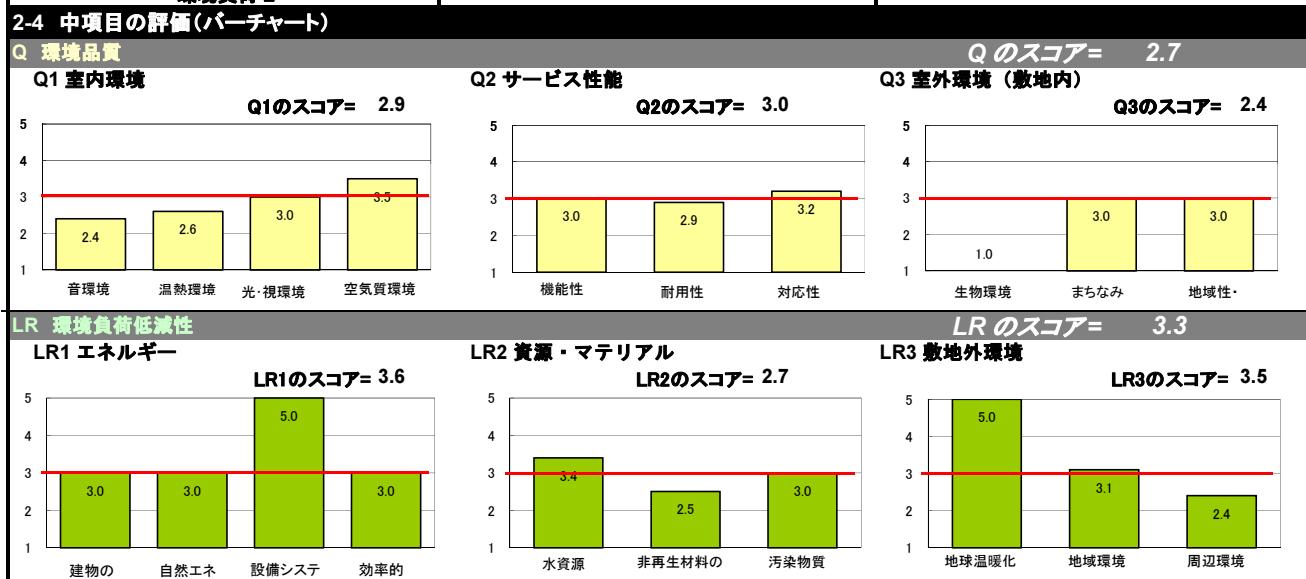
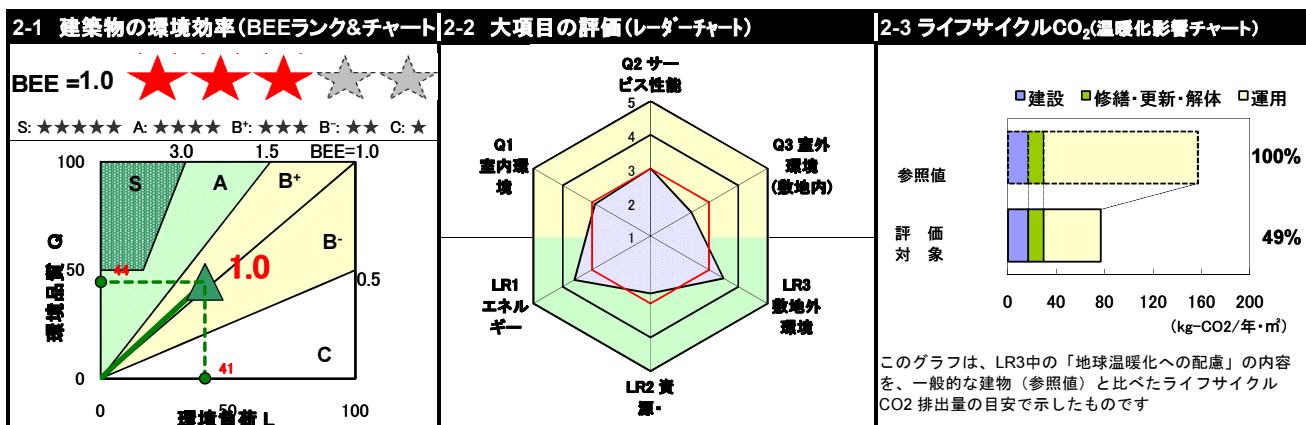


CASBEE® 新築[簡易版] | 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 (使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2))

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)ヤマダ電機テックランド京都伏見店	階数	地上3F	
建設地	京都市伏見区下鳥羽北ノ口町24	構造	S造	
用途地域	準工業地域	平均居住人員	50 人	
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	4,500 時間/年	
建物用途	物販店、工場、	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2011年1月 予定	評価の実施日	2008年7月8日	
敷地面積	8,913 m ²	作成者	(有)高田建築設計	
建築面積	5,324 m ²	確認日		
延床面積	13,165 m ²	確認者		



3 設計上の配慮事項		その他	
<p>総合</p> <ul style="list-style-type: none"> 周辺の町並みに調和するよう、建物の形を、できるだけシンプルにした。 沿道には出来る限りの植栽を設けている 			
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)	
<ul style="list-style-type: none"> 床・壁・天井・建具等の建材、接着剤は、全てF☆☆☆☆使用 室内喫煙なし 	<ul style="list-style-type: none"> 売場の天井高3.6mを確保した。 売場平面は、極力凹凸を少なくした。 	<ul style="list-style-type: none"> 周辺の町並みに調和するよう、建物の形を、できるだけシンプルにした。 空調室外機、キューピクル等を、2階屋根に設置し外部から見えづらい様にした。 	
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境	
<ul style="list-style-type: none"> 断熱性を高めて熱負荷の抑制に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 省水型機器を採用した。 	<ul style="list-style-type: none"> 燃焼機器の使用は無いため大気汚染物質は発生しない。 駐輪場、駐車場を十分確保した。 	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフケイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される